



■ 琉球舞踊とは

沖繩は、1879(明治12)年に沖縄県が設置されるまで、琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。

その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。

①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって生まれた

「古典舞踊」

②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた

大衆的な「雑踊」

③戦後につくられた「創作舞踊」

さんしん
三線



こきゅう
胡弓



こと
箏



ふえ
笛



ひらづりだいて
平吊太鼓



しめだいて
締太鼓

■ 組踊とは

台詞、音楽、踊り(所作)によって構成される演劇(歌舞劇)のことです。組踊は、琉球(今の沖縄県)の新国王認証のため中国から派遣された冊封使をもてなすために玉城朝薫によって作られ、1719年に初めて上演されました。

朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、あるいは中国の演劇からヒントを得て、琉球に残る古い伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。

今年2023年は、組踊がはじめて上演されてから304年目となります。